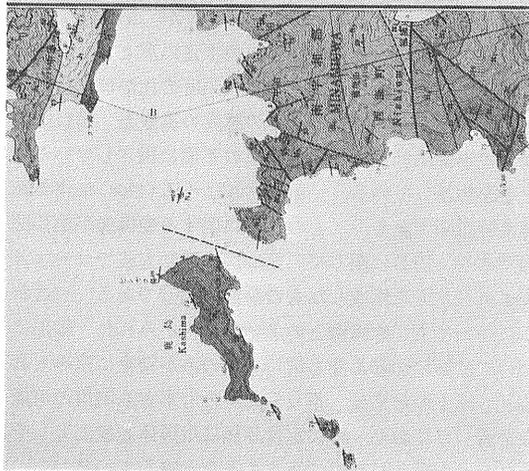
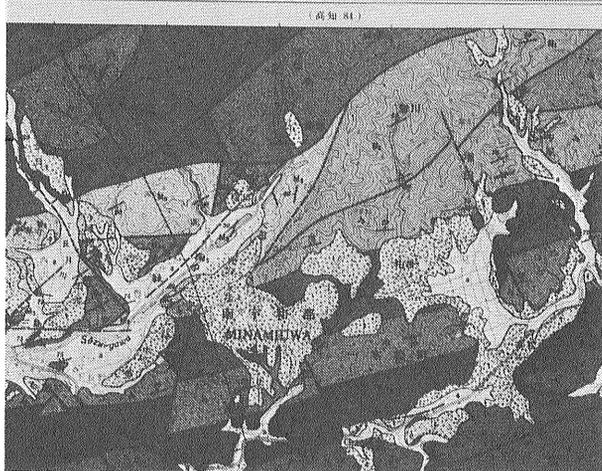


宿毛 SUKUMO

伊予鹿島 IYOKASHIMA



5 万分の 1 地質図幅の新刊

伊予鹿島及宿毛

IYOKASHIMA and SUKUMO

5 万分の 1 地質図幅
地域地質研究報告

で宿毛付近から東方の中村にかけていわゆる“中筋地溝帯”とよばれている地帯は 化石を諸地点から産するために古くから注目されてきた。 両図幅を含んだ周辺地域の地質図幅としては 7 万 5 千分の 1「宿毛」が40年以上も前に刊行されているが その後の四十帯の地層に関する知識は飛躍的に増大し これまで永らくよばれてきた“時代未詳”の汚名も逐次消えつつある。

- 両図幅地域の地質系統は ほとんど古亜一古第三系四万十累層群であり ほかに新第三紀中新世の貫入岩類が小岩体として宿毛図幅地域内に点在している。 四万十累層群中の白亜系の部分は 宿毛図幅地域の北部と伊予鹿島図幅地域に分布し 下位より砂岩・泥岩・砂岩それぞれに富む 3 地層群に大別される。 古第三系の部分は 宿毛図幅地域の南部に分布し 剪断頁岩を主とし苦鉄質火山岩類を伴う地層群と上位のタービダイト相を伴う地層群に 2 大別される。 これまで大型化石を産出していない地層群から 上部白亜系上部・古第三系始新統それぞれを特徴づける放射虫化石のみいだされた点が注目される。 さらに四万十累層群の古流系や砂岩組成についてもふれている。

著 者 田 中 啓 策(地質部)
発 行 工業技術院 地質調査所
取 扱 先 東京地学協会(03)261-0809
地学文献センター(0423)62-5050
その他 各地の書店でも購入できます

- 伊予鹿島と宿毛(スクモと読む)は高知県南西端の小都市土佐藩家老の旧城下町。 宿毛図幅と同時に刊行された西隣の伊予鹿島図幅も含んだ地域は 東に宿毛湾を抱き 西にリアス式沈降海岸を展開して豊後水道に臨んでいる。 足摺宇和海国立公園に入っており とくに鹿島やその沖合の横島は宇和海海中公園として海底景観を誇っている。
- 地質図幅は隣接する「伊予鹿島」と「宿毛」の 2 枚であるが地域 地質研究報告は記述の重複を避けるため 1 冊にまとめられている。
- 宿毛・伊予鹿島両図幅地域は西南日本外帯の四万十帯に含まれる。 一般に化石の産出がごく少ない四万十帯のなか

地質ニュース	第31号	7 月号
昭和55年7月1日	定価 ¥ 500	〒実費
編 集	発 行	
発行人	工業技術院 地質調査所	
発行所	株式会社 久 雄	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951(代表)	
	振替口座 東京 32466	
総発売元	大蔵省印刷局	政府刊行物仕入部
	東京都港区赤坂裏町2	
	Tel. (03) 582-4866	
印刷所	共同印刷株式会社	